

コロナ下の英国紀行 (1)

1. 出立準備

まずは航空券の手配からと調べてみると、ロシアのウクライナ侵攻で欧州路線は殆ど運休している中で、JAL 4 3 便だけがロンドン直行便として 1 本のみ毎日運航していました。ただ、以前の 2 倍程のとんでもなく高い運賃！ 2 年間コロナで外飲みの機会がなかったことで貯めていたヘソクリが一気に霧散。久し振りの娘との対面、泣く泣く諦めて予約完了。

次はコロナワクチン接種証明(3 回接種済の)、保健所に駆け込んでの証明書申請。

保健所では、特設受付が通常業務エリアから隔離された建物入りロビーに、係員が一人暇そうに時間を持て余しており、いとも簡単に申請完了。4 日後に郵送されてきたのが右の証明書。こちらは無料で入手できました。

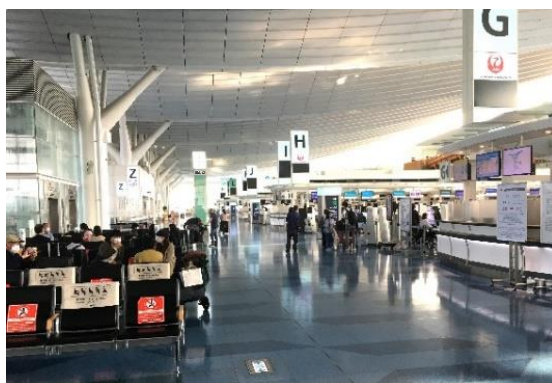


ワクチン接種証明書
(拡大図は文末参照)

2. 日本出発

さて、5 月 5 日子供の日の早朝 7 時、本当に久し振りの羽田です。

この時間帯、羽田国際線第 3 ターミナルで、チェックインカウンターが開いているのは JAL だけで人はまばら、閑散としていてコロナ前とは全く違う寂しい光景にまず驚きです。



閑散とした出発ロビー



乗客数も少ない JAL カウンター

利用客が少ないことから搭乗手続きはとてもスムーズ、保安検査も並ぶこともなく出国審査完了。驚いたことにこの 4 年間で全てが自動化されていてパスポートの自動読込、写真撮影照合だけで完了、通路脇のカウンター内からは“必要な人だけ押印します”とにこやかな対応。ただし、写真撮影時にはマスク、眼鏡、鬘（？）脱着が必要でした。

さて、ラウンジで朝食をと受付に行くと、乗客が少ないためかいつもの”桜ラウンジ”は閉鎖中でファーストクラス・ラウンジへの案内、ラッキー！

初めてのファーストクラス・ラウンジ、ここも閑散としていてスタッフだけが目立つ状況。

さて食事を、とラウンジ内を見渡しても料理コーナーは見当たらない！

スタッフに聞くとテーブル上の QR コードからスマホでメニューを読み取ってのオーダーとのこと、まるで最近の街中の居酒屋と同じシステムにびっくり！

慣れない手つきで、何時ものカレーと握寿司を注文、待っているとテーブルまで持ってきてくれました。でも、味は”桜ラウンジ”と変わりませんでした。

朝食も済ませ、不足の土産の調達にとターミナル内を探索するも、店の絶対数が少ない上に朝早い為か閉まっている店が殆どで予定が外れてしまいました。遠くても、成田のほうが買い物には便利なようです。

ブランド品は必要ないが、お土産の最終補給は必要、注文を受けていた「崎陽軒のシュウマイ」「インスタン味噌ラーメン」「せんべい」等は入手できず。娘、妹には申し訳ない！

搭乗した機内、ビジネスクラスには数人のみ、我々エコノミーでも 40%程度の混み具合。中央 4 人席が埋まっているのは乳児ベッド附属席のみ、3~4 人席 1 列を占有して横になっている人が多い中、私たち夫婦も窓側 3 人席を占有。

発着便数も少ないことから、離陸で待たされることなく定刻前に離陸、14 時間半の長旅の始まりです。

席に座って落ち着き、ふと思ったのは連休前に慌てて保健所に駆け込んで入手した「ワクチン 3 回接種証明書」ここまで一度も誰にも見せていない！

いったい何なのだろうか？それとも帰国時に必要なのか？ かすかな不安と不満を抱えての離陸でした。

3. ヨーロッパへの航空路、ロンドンヒースロー空港まで

さて、事前予告されていたロシア上空を飛ばない北回りとは？

何時もの 12 時間より 2 時間半も長い 14 時間半、どんな航路を辿るのか離陸早々フライトマップを開きました。案の定画面に表示される飛行航路は、いつもと違いどこまでも北上、4 時間たってもカムチャッカ半島沿いを飛行しており、ついに日付変更線を通過してアラス

かに、昔懐かしいアンカレッジの名前が出現。

40数年前、初めての渡英時は往復ともにアンカレッジでワンストップ、空港内でうどんを食べ冷凍のタラバガニの足を機内に持込んだことを思い出しました。ついであら、この時のタラバ蟹の足、大きすぎて機内のレンジでの解凍ができず、凍ったままの蟹肉に齧りついたことを思い出しました！

もう一つ、アンカレッジ空港のラウンジに置かれていた巨大な白熊の剥製（今は新千歳空港に寄贈されているとも聞いてますが…）も懐かしく思い出されます。



何処までも北に1直線、日付変更線を通過

アラスカを超えて北極海に

今回は、このアンカレッジに立ち寄ることもなく上空を素通りして北極の海へ、グリーンランド、アイスランドを経てイギリスに、フライトマップの画像を、記念にと撮影しながら楽しく見続けていました。もう二度とこんなフライトを体験することはないでしょうから！



北極海、グリーンランド上空を通過



画面上で、「横一直線」表示された航路
(地球の裏側通過の表示です)

復路は南回りと予告されているので、これまた新しい経験、楽しいフライトマップ旅行になることを期待しました。

4. ロンドン、ヒースロー空港到着

羽田離陸から14時間後、定刻よりも30分早くロンドンヒースロー空港に着陸、こちらも羽田空港同様にいつもの喧騒が聞こえてきません。

日本、EU を含む選ばれた 11 か国からの入国者には特別な検疫検査は既に必要なく、直接自動化ゲートへ。ここでもパスポート読取りと写真撮影のみ、出発前に入手した“ワクチン接種証明書”を提示する機会は与えてもらえませんでした。

意外なほどあっけない入国検査、以前はパスポートコントロールで長時間待たされていたのに！コロナ禍で乗客数が減少しているのと、入国規制緩和・入国審査の自動化の恩恵か？でも、11 か国以外からの入国者は別の入国審査ラインに、この列は以前のように長いものでした。

入国者の列を見て気が付いたのは、髭面の男性、チャドル（イスラム女性が用いる全体を覆う黒い服）を着た女性の多いこと！この女性たちが白いマスクをつけている姿は、非常に印象的でした。それにしても、空港内は以前のような賑わいはなく羽田同様にひっそりしており、また、殆どのヨーロッパ人はマスクなしで歩いています。

ここでは既にコロナ禍は過ぎ去ってしまったのか、と思えるほどです。



静まり返っている到着ロビー



チャドルにマスクのムスリム女性

空港には、娘が仕事を休んで迎えに来てくれていました。

娘が手配していたミニキャブを待つことにしたものの、ドライバーからは交通渋滞で遅れるとの連絡のみ。手配会社に連絡をするも状況把握ができておらず、結局3時間以上空港内で待ちぼうけに！

やっと来たドライバーの話から酷い渋滞の原因が判明しました。空港へ入る唯一の連絡トンネル、入り口付近で送水管が破損したため漏れた水が流入し、排水作業で渋滞が起きていたとのこと。このイギリスでも、排水管1本の破裂で航空便の発着にまで影響が出ることに、脅いた1幕でした。

それにしても、機内14時間半、空港内4時間、ロンドンが本当に遠い所でした！

5. コロナ検査

さらに追い打ちをかけられたのが妹家族のコロナ検査陽性との思いがけない報告、無症状とはいえ感染リスクを避けるために滞在先を予定していた妹の家から娘の狭いアパートに急遽変更、初めの1週間が3人での雑魚寝生活になってしまいました！

また、確認の為に何度も Home Kit Test を実施することにも。

この検査キットは政府が無償で各家庭に配布していたもの、今では財政難からか有償になってしまったそうですが、各家庭には未使用のキットが相当数残っているとのこと。街中をマスク内で快適に闊歩できる代わりに、このような自己防衛措置が必要になっているのですね。

この Home kit Test については、ロンドンでの生活点描と共に後程報告させていただきます。

(参考) ワクチン接種証明書

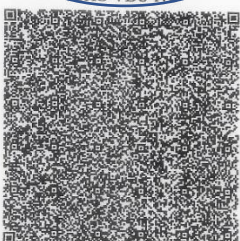
新型コロナウイルス感染症 予防接種証明書
Vaccination Certificate of COVID-19

姓名
[Surname Given name]
富井 利尚
[TOMII TOSHIHISA]
生年月日 [Date of Birth] (YYYY-MM-DD)
1947-07-22
国籍・地域 [Nationality/Region]
JAPAN
旅券番号 [Passport Number]
[REDACTED]

日本国内用・海外用
[Domestic Use in Japan / International Travel]

SMART Health Cards

海外用
[International Travel]
ICAO VDS-NC



接種年月日 [Vaccination Date] (YYYY-MM-DD)	ワクチンの種類 [Vaccination Type]	メーカー [Manufacturer]	製品名 [Product Name]	製造番号 [Lot Number]	接種国 [Country of Vaccination]
2021-06-12	COVID-19 mRNA	ファイザー [Pfizer/BioNTech]	コミナティ [COMIRNATY]	FA5715	日本 [JAPAN]
2021-07-03	COVID-19 mRNA	ファイザー [Pfizer/BioNTech]	コミナティ [COMIRNATY]	EY5423	日本 [JAPAN]
2022-02-22	COVID-19 mRNA	ファイザー [Pfizer/BioNTech]	コミナティ [COMIRNATY]	FK0108	日本 [JAPAN]

証明書発行者 [Certificate Issuance Authority]
東京都中野区長
[Mayor of Nakano City, Tokyo Prefecture]
日本国厚生労働大臣
[Minister of Health, Labour and Welfare, Government of Japan]
証明書ID [Certificate Identifier]
131148-20220411-000035
証明書発行年月日 [Issue Date] (YYYY-MM-DD)
2022-04-11